

石川県内液状化しやすさマップ



国土交通省北陸地方整備局
公益社団法人 地盤工学会 北陸支部

地盤の液状化現象は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」でも広範囲にわたって各種施設に多大な被害をもたらし、マスコミ等を通じて広く報道されるなど、大きな関心事になりました。

北陸地方においても新潟地震(昭和 39 年)、新潟県中越地震(平成 16 年)、能登半島地震(平成 19 年)、新潟県中越沖地震(平成 19 年)では、家屋、堤防、道路等に多くの液状化被害が発生しました。

そのため、北陸地方整備局では、公益社団法人地盤工学会北陸支部との共同により、過去の液状化発生状況や地形地質等に関する情報等を加えて検討し「液状化しやすさマップ」を作成しました。

「液状化しやすさマップ」は液状化しやすいかどうかを示したものです。住んでいる土地(地盤)の性質を知っていただき、土地利用をする際や防災に役立ててもらいたいと考えています。

ご利用にあたって

- ①このマップは、地盤の液状化という点にのみ注目し、「液状化しやすさの傾向」を示したものであり、地震被害想定マップではありません。なお、液状化しにくい地盤でも地震による揺れが大きくなる場合があるので留意ください。
- ②液状化しやすいとされる地形条件と既存の地盤(ボーリング)データを参照しており、多くの推定を含んでいます。したがって、大まかな傾向を示したものととらえてください。
- ③液状化対策が実施された建物など、地盤が液状化しても被害が現れない場合があります。本マップは液状化による被害の有無にかかわらずあくまでも地盤の性質として、液状化しやすい傾向を示したものです。

表紙の写真 写真上：能登半島地震の液状化による噴砂現象(珠洲市正院町)

写真中：能登半島地震による液状化で浮き上がった浄化槽(門前町清水)

写真下：能登半島地震の液状化による埋め戻し土の噴砂現象(門前町広瀬)

以上、文献 1)より

索引図及び目次

目次

索引図及び目次

1章	1
液状化しやすさマップ作成フロー	
2章	3
液状化しやすさマップ	
3章	15
液状化Q&A	
4章	18
石川県を襲った地震ー過去の液状化被害ー	
5章	19
石川県の地形・地質	
一口知識	21
引用・参考文献	25

